

アフターサービス

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現 象	原 因	対 策	参照ページ
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチの電源が入っていない。	壁スイッチの電源を ON にしてください。	—
	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	リモコンの乾電池が間違っている。	乾電池を正しく入れてください。	4
	乾電池が寿命になっている。	新しい乾電池と交換してください。	4
	電源を入れたままランプを取り付けた。	リモコンの消灯ボタンを一度押してから、点灯操作してください。	4
	器具本体とリモコンのチャンネル切り替えスイッチが合っていない。	チャンネル切り替えスイッチを正しく設定してください。	5
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	6
壁スイッチを操作しても点灯しない。	蛍光ランプが切れている。	新しい蛍光ランプと交換してください。	6
	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	6
	蛍光ランプが切れている。	新しい蛍光ランプと交換してください。	6

このようなことにもご注意ください

リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	ON ・ OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	壁スイッチを一度 OFF し、約 1 秒後に再度 ON にしてください。
	ON ・ OFF 状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびに ON と OFF が切り替わり、今の状態が ON なのか OFF なのかわからないタイプ)	① 壁スイッチを約 1 秒間隔で 2 回押してください。 ② もし①の操作で点灯しないときは、①の操作後 2 秒以上待ってから壁スイッチを約 1 秒間隔で 3 回押してください。

* 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示)・現象を連絡のうえご相談ください。

●お客様メモ	後日のために記入しておいてください。	購入店名
	サービスを依頼されるときにお役にたちます。	電話 ご購入年月日

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00～19:00(365日)
携帯電話、PHSからご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

取扱説明書

日立蛍光灯器具

HITACHI
Inspire the Next

保存用

らくづけ
・ワイド調光

シアター
THEATER

新防虫構造「虫ガード」採用
パールミック IC 100W形

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

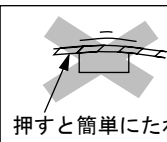
安全上のご注意

⚠ 警告

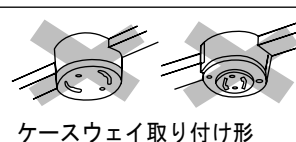
- このような場所には取り付けない。
(この器具は天井面取り付け専用です。)
* 器具の落下によるけがの原因となります。



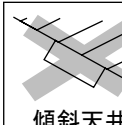
禁止



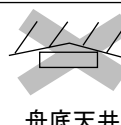
押すと簡単にたわむ
補強のない天井



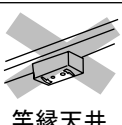
ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリングボディ



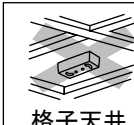
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



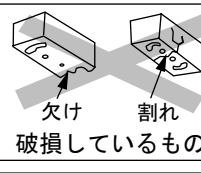
格子天井

- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。
* 火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
* 感電・故障の原因となります。

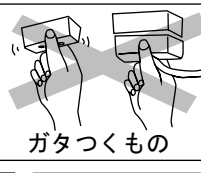
- このような配線部品には取り付けない。
* 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



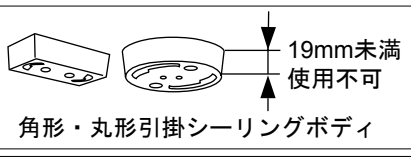
禁止



欠け 割れ
破損しているもの



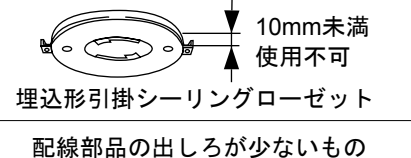
ガタつくもの



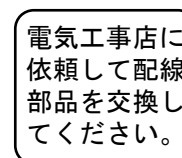
角形・丸形引掛シーリングボディ



電源が露出しているもの



埋込形引掛シーリングローゼット



配線部品の出しろが少ないもの

電気工事店に
依頼して配線
部品を交換し
てください。

⚠ 注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。
* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光ランプ・保安球などの交換の際は、必ず電源を切る。
* 電源を切らないと感電の原因となります。

- 器具の真下にストーブなどを置かない。
* 過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。)
* 火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっている
ので触らない。
* やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。
* 器具の落下によるけがの原因となります

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。
このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。
このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。
- 短い停電(0.5秒～2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。
長期間、器具を使用しない場合は壁スイッチを **OFF** にすることをおすすめします。
- 商品出荷時は器具側を消灯状態としておりますので、据えつけ後点灯確認はなるべくリモコンでお確かめください。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。
- ランプ点灯直後、ランプがちらつく場合があります。
- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



必ず守る 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。
*しろうと工事は危険です。
また、法律で禁じられています。

電気工事店(有資格者)のかたへ

●角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。



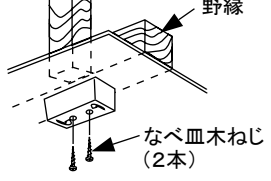
適用電線
φ1.6または
φ2.0 単線
*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

解除のしかた

●○ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



必ず守る 野縁などの補強材のある所に取り付ける。
*補強材のないところに取り付けると器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

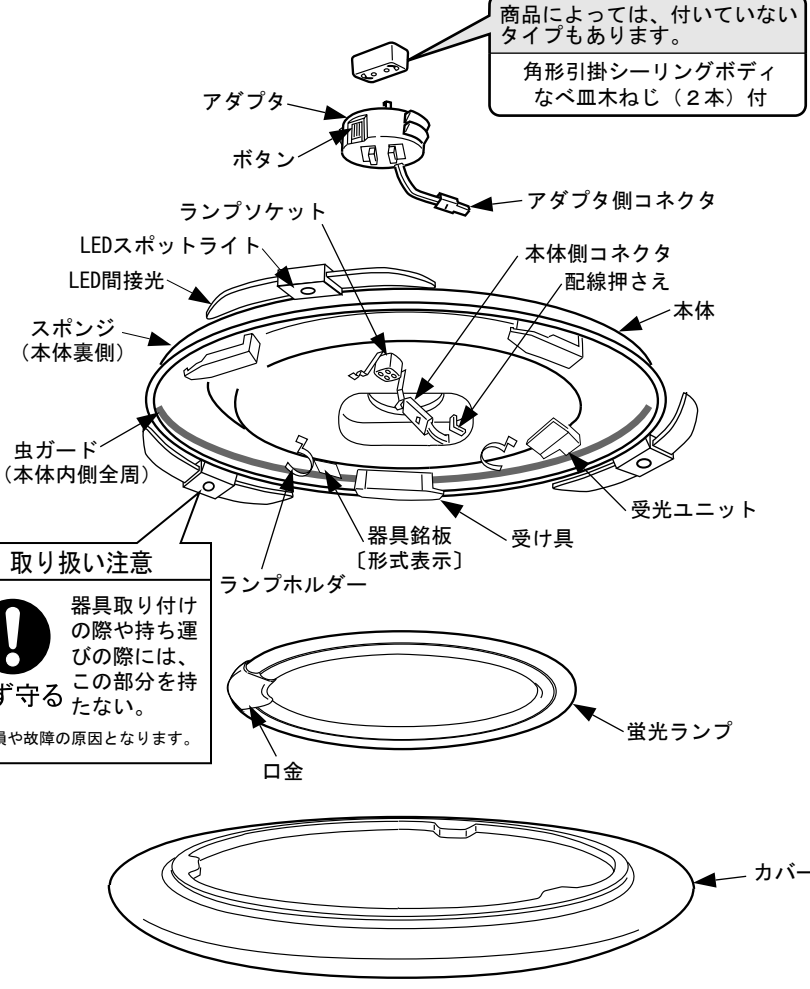
●下図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に...

- 蛍光灯などを固定しているテープをはがしてください。
- アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。

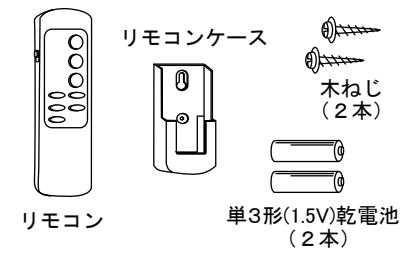
必ず守る 口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

必ず守る 本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。
*本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。



取り扱い注意
器具取り付けの際や持ち運びの際には、この部分を持たない。
*破損や故障の原因となります。

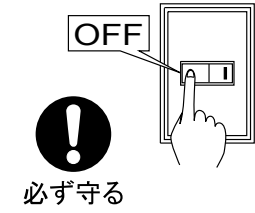
リモコン部品



保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光灯などの交換の際は、必ず電源を切る。

*電源を切らないと感電の原因となります。



■器具のお手入れ

必ず守る 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
*石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

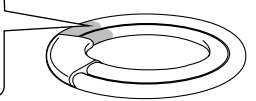
■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。

禁止 *割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



■蛍光灯の交換時期について

●口金付近が全周にわたって黒ずみ、明るさが低下したら寿命ですので、新しい蛍光灯とお取り替えください。



日立パールミック100形をお求めください。

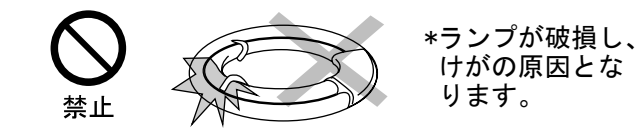
●なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

■蛍光灯取り扱い上のご注意

●点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



●ランプホルダーをランプに強く当てない。



仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	適合ランプ
100W形		交流100V	50Hz-60Hz 共用	FHD100

消費電力				
全灯点灯時(各光源100%点灯時) (蛍光灯+LEDスポット+LED間接光)	蛍光灯のみ 100%点灯時	LEDスポットのみ 100%点灯時	LED間接光のみ 100%点灯時	リモコン消灯時
97W	91W	4.5W	1.2W	0.6W

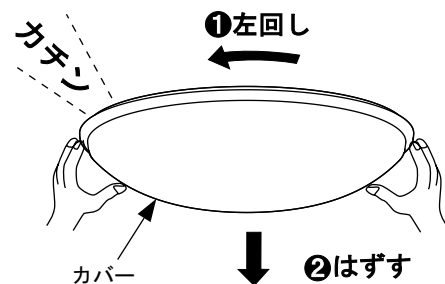
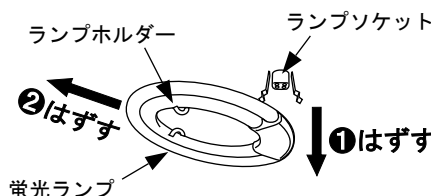
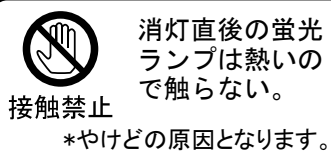
●この器具はリモコン機能付器具のため、ランプ消灯時でも約0.6Wの電力を消費しています。長時間お使いにならないときは、必ず壁スイッチを切り節電に心がけてください。

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

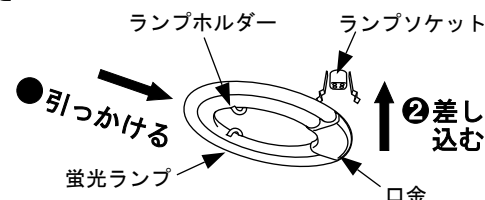
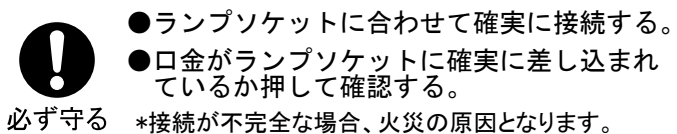
①電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。

③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っかけ、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

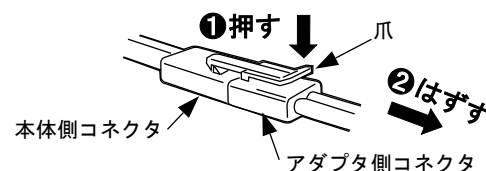
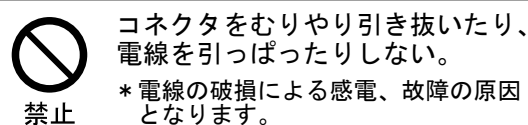
* 蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

⑥カバーを取り付けてください。（3 ページ **3. カバーの取り付け** をご参照ください。）

本体のはずしかた

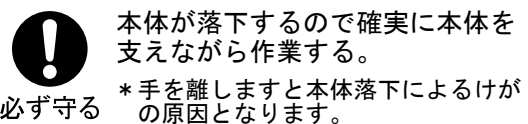
①電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

②コネクタをはずしてください。（アダプタ側コネクタの爪を押しながらかき抜いてください。）

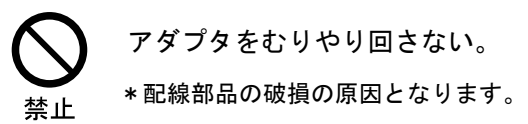


③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

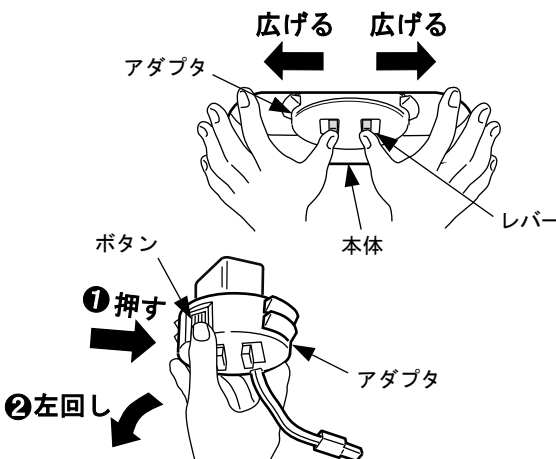
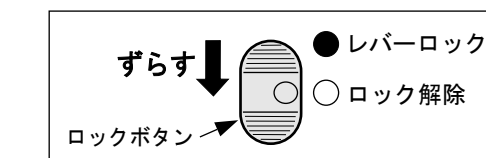
④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー（2ヶ所）を外側に広げてください。



⑤アダプタをはずしてください。（ボタンを押しながら左方向に回してください。）



⑥本体の取り付けかたは3 ページ **器具の取り付けかた** を参照してください。

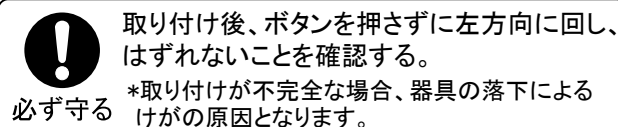
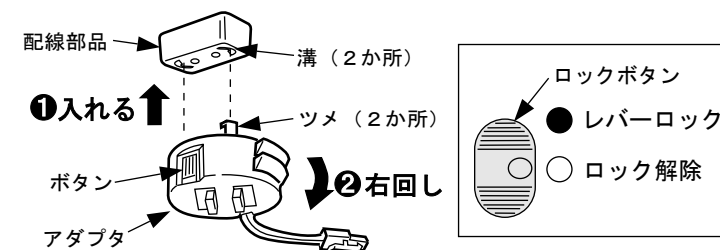


器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け 電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

①配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。（ロックが掛かり固定されます。）

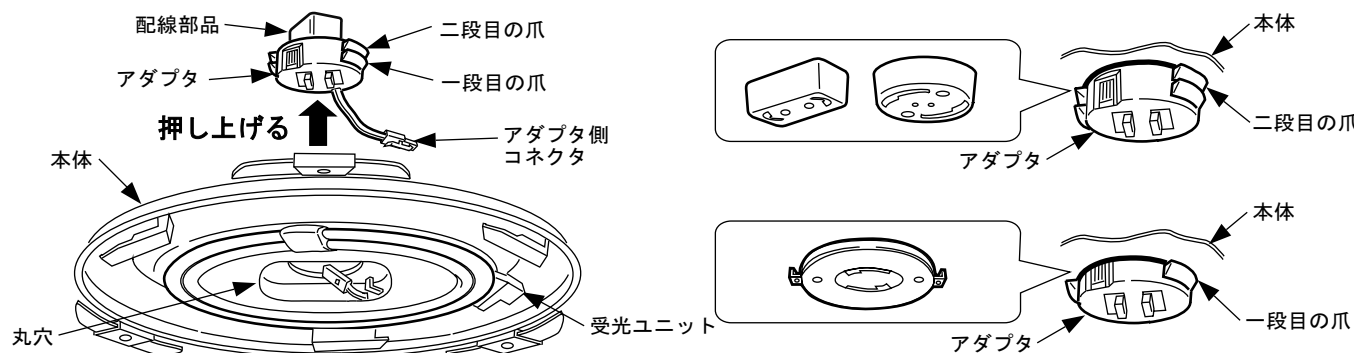
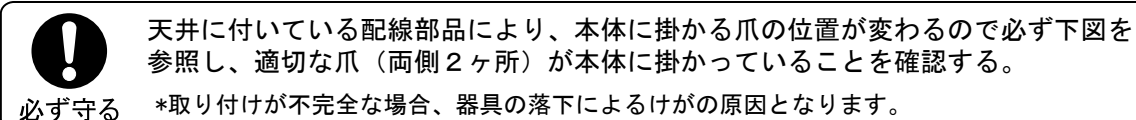
②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



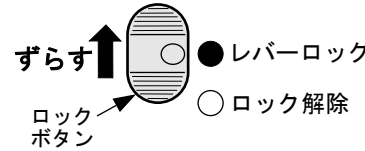
アダプタのはずしかた
ボタンを押しながら左方向へ回してください。

2. 本体の取り付け

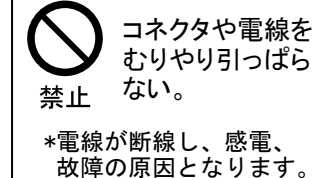
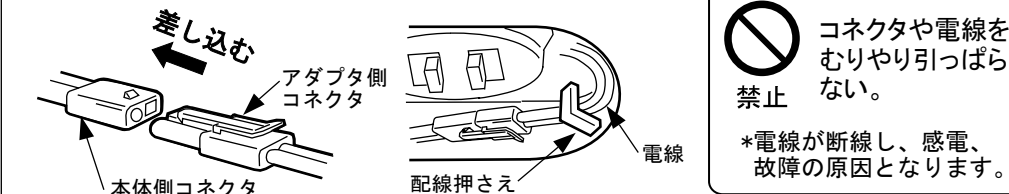
①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。



②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。

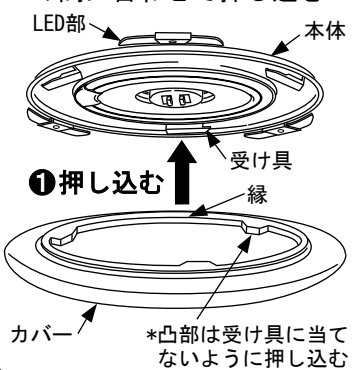


③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。

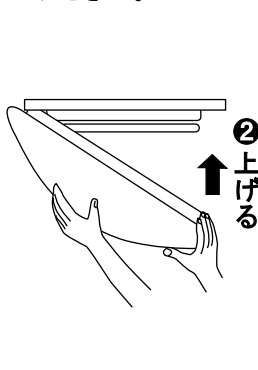


3. カバーの取り付け

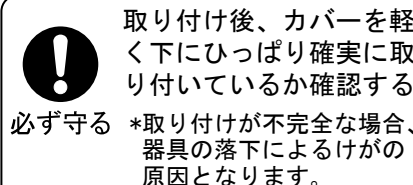
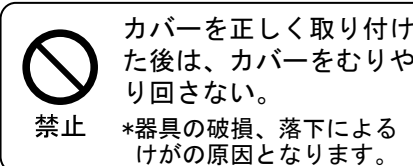
①カバーの縁をLED部とLED部の間に合わせて押し込む



②反対側を押し上げて

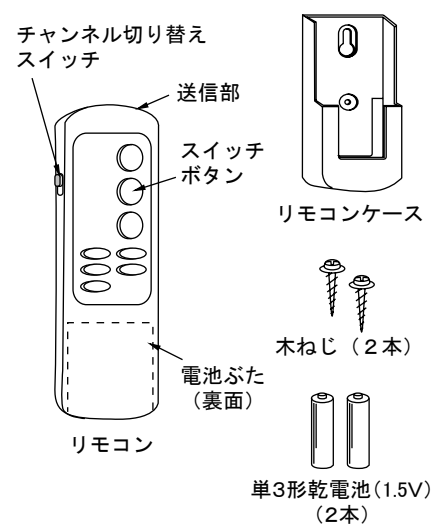


③中央をささえながら右に回してください。



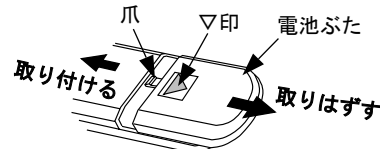
リモコンによる操作方法

各部の名称（リモコン部品）



乾電池の入れかた交換のしかた

- ①リモコン裏面の、電池ふたの▽印を押しながら電池ふたをずらして取りはずしてください。
 - ②付属の単3形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れてください。
 - ③リモコンに電池ふたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。
- * リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。



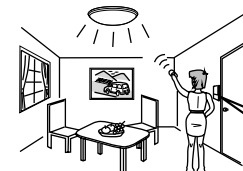
! 長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
* 液もれによるリモコンの故障の原因となります。

注意

- ・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
- ・充電式電池は使用しない。
- ・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
- * 乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

リモコンケースの使いかた

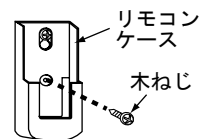
- リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



- リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。
- リモコンケースの取り付け場所は、部屋の出入り口付近が便利です。

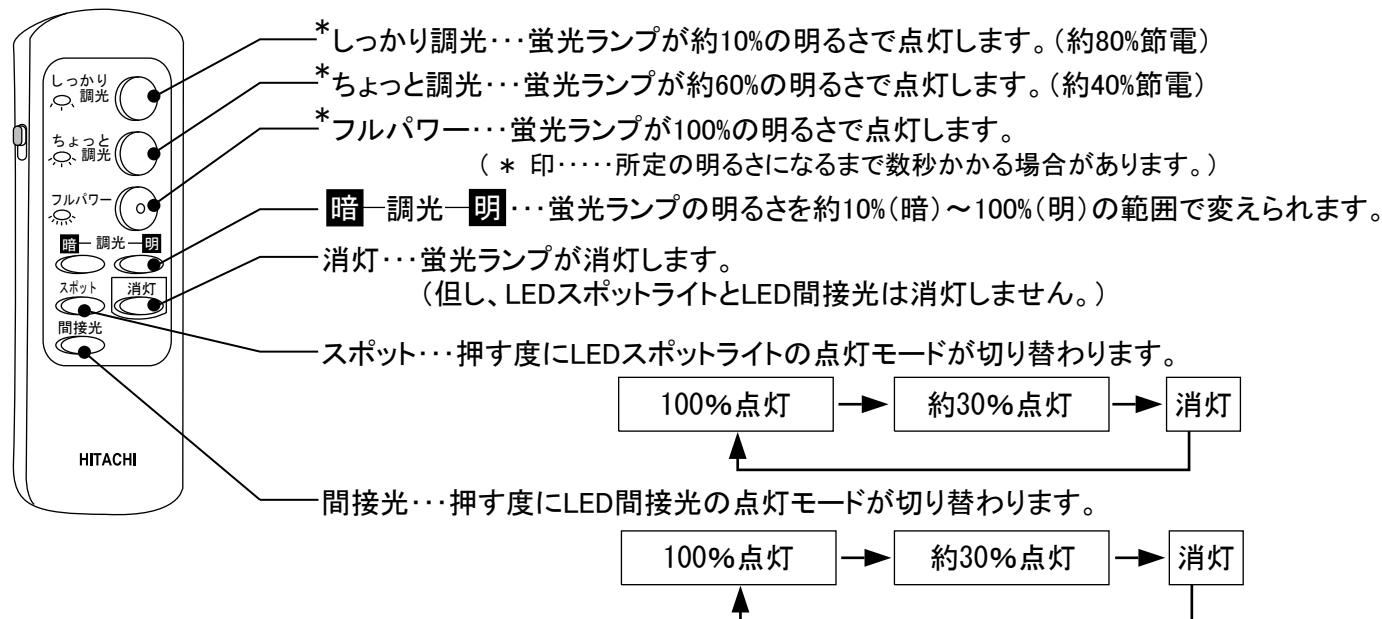
取り付けかた

- リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本でしっかり取り付けてください。



点灯確認

- スイッチボタンを押して点灯確認をしてください。（スイッチボタンを押してリモコンからの赤外線が本体に入りますと、本体から電子音が鳴り受信をお知らせします。）



このようなことにもご注意ください

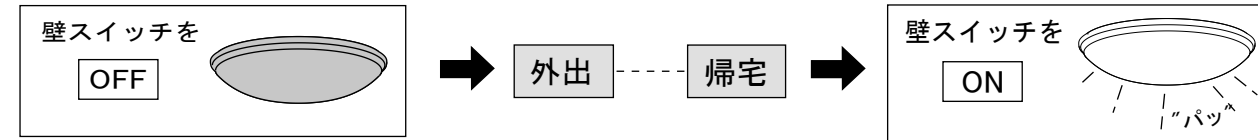
- リモコンと器具の間にしゃへい物がありますと、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 室温が低い時に**しっかり調光**（約10%の明るさ）で点灯させた場合には、約40%の明るさで点灯し、しばらくしてから**しっかり調光**（約10%の明るさ）になります。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。

壁スイッチによる操作方法

壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

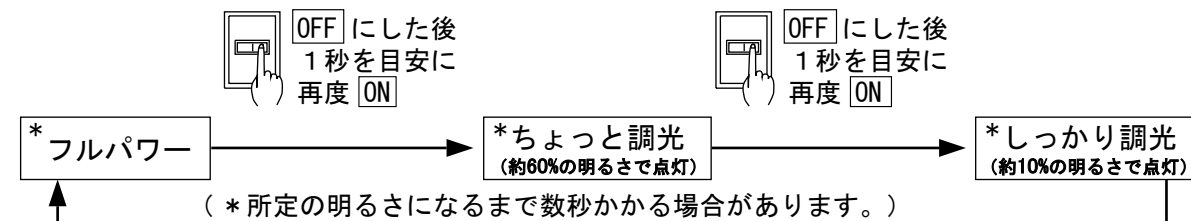
※LEDスポットライトとLED間接光は壁スイッチによる点灯モードの切り替えは出来ません。（電源遮断前の点灯モードになります。）

- 壁スイッチを**OFF**にした後、再度壁スイッチを**ON**にしますと、消灯前の点灯モードになります。

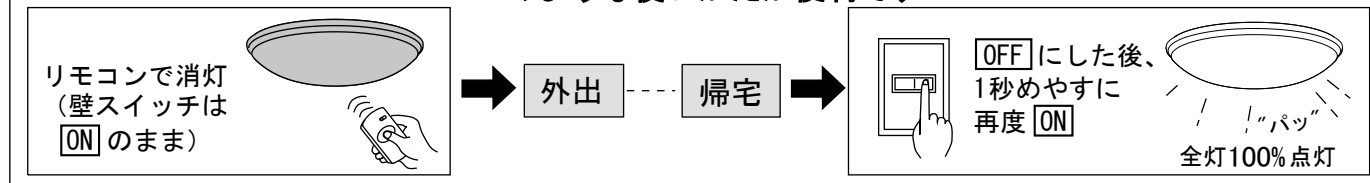


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

* 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です



—ご注意—

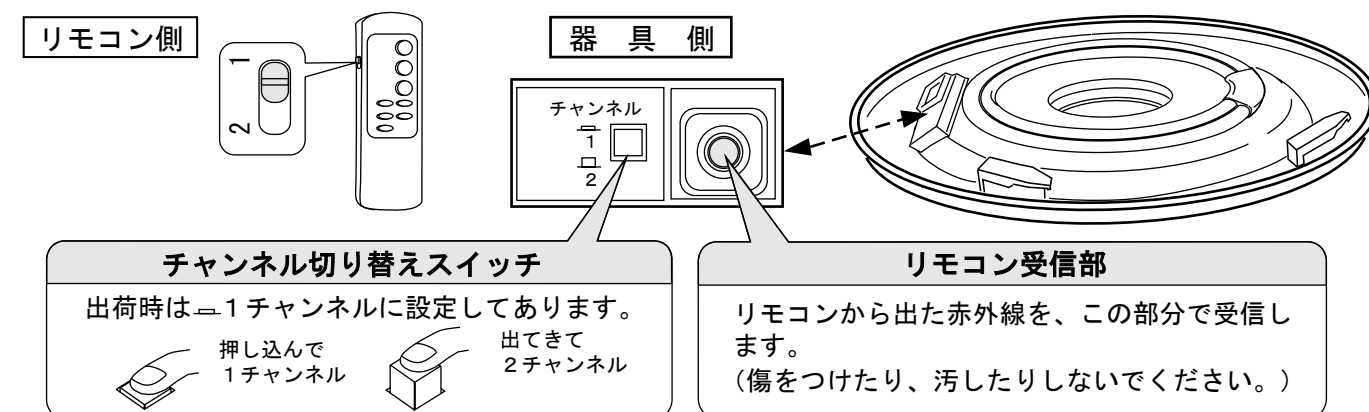
壁スイッチの**OFF** - **ON**の切り替え時間を検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、**壁スイッチ操作の際は約1秒**をめやすとして操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で**OFF** → **ON**操作をもう一度おこなってください。

チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側及びリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



室内のリモコン照明器具が2台の場合

器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することにより、個別操作や同時操作ができます。また、リモコンは、他の日立リモコン照明器具と一部互換性があるため、一緒に使用する場合はチャンネル切り替えスイッチを右図同様に設定してください。

	個別操作		同時操作	
	1台目	2台目	1台目	2台目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	2 1	2 1	2 1	2 1